

2022年5月31日

各位

三菱地所株式会社

指名委員会

指名委員長 岡本 毅（社外取締役）

（コード番号：8802 東証プライム市場）

当社第123回定時株主総会における第3号議案に関する補足説明

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、2022年6月29日に開催予定の当社第123回定時株主総会の第3号議案（取締役15名選任の件）において、社外取締役候補者として江上節子氏（以下、「江上氏」といいます）を取締役候補者として上程予定です。

つきましては、下記の通り江上氏の独立性並びに知見・経験・能力について補足説明をさせていただきますので、株主の皆様におかれましては議決権行使のご判断をされる際の参考としていただきたくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 補足説明の経緯

当社が東日本旅客鉄道(株)の株式（有価証券報告書の「保有目的が純投資以外の目的である投資株式」）を保有しており、江上氏が過去に東日本旅客鉄道(株)に勤務したことがあるという事実に対し、江上氏が独立性を保持していることを示すため、本補足説明を実施いたします。

2. 当社からの補足説明

(1) 当社のガバナンスおよび取締役選任の考え方

当社は取締役会の構成において、取締役会全体として、各取締役の経験、専門知識や知見等のバックグラウンドの多様性及び適切なバランスの確保に努めることを「三菱地所コーポレートガバナンス・ガイドライン^{※1}」に定めております。取締役15名中社外取締役が7名の構成となっておりますが、株主総会における取締役候補者は、女性の増員（1名→2名）を含め、バックグラウンドの多様性とバランスを充たした体制構築を企図しております。

当社は指名委員会等設置会社であり、取締役候補者の選定は委員全員が社外取締役で構成された指名委員会において、東京証券取引所が定める独立性基準に当社独自の基準を加えた「社外取締役の独立性基準^{※2}」及び「取締役候補者選任基準^{※3}」に基づき行われます。取締役候補者に求める資質及び能力に加え、経営戦略に照らして備えるべきスキルを具備し、専門分野における経験や知見等を活かし、特定の利害関係者の利益に偏らず、株主共同の利益に資するかどうかの観点から客観的で公平公正な判断をなし得る人格・識見を有した上で、「社外取締役の独立性基準」を充たす者から選任を行っています。

(2) 江上氏の独立性について

江上氏は1983年に(株)日本リクルートセンター（現(株)リクルートホールディングス）に入社し、「とらばーゆ」等様々な人材情報誌の編集長を務め、その後産能大学オープンカレッジの校長や中央労働基準審議会委員などを務めた後、東日本旅客鉄道(株)に2001年9月から2005年6月まで勤務され、2009年6月まで非常勤として同社の顧問を受嘱されました。

2005年6月に東日本旅客鉄道(株)を退社した後は、2006年4月より早稲田大学客員教授、2009年4月より武蔵大学教授として研究・教育分野で活動をされてきました。このように江上氏においては、その多岐にわたるキャリアの一時期において、東日本旅客鉄道(株)での勤務経験があるに過ぎず、2015年6月の当社社外取締役就任時点で同社退社より約10年が経過し、現在においては退社後約17年（顧問退任後約13年）が経過していることも踏まえると、もはや同社との間で関係性は存在しないものと考えます。

2014年の会社法改正により、自社への勤務経験を有した者であっても、退社より10年経過後は社外要件を満たすものとする変更が行われている状況等をも踏まえると、クーリングオフ期間の観点においても十分独立性を満たしております。

こうしたことから、当社指名委員会としては、江上氏は社外取締役の独立性基準を満たしており、独立性は十分に確保されているものと考えます。

(3) 江上氏の知見・経験・能力について

江上氏は2015年6月に社外取締役に就任し、当社が2016年6月に指名委員会等設置会社に移行してからは、指名委員会及び報酬委員会の委員を務めています。

江上氏は多岐に渡るキャリアの中で、特に企業戦略、マーケティング戦略、人材育成等における優れた知見と識見を有している方で、常に活発な意見・提言をいただき、また客観的な立場で質問することによりチェック・牽制機能を果たしていただいています。2021年度も取締役会、指名委員会、報酬委員会のすべてに出席しており、女性の立場からの社会課題について意見も加えていただいております。取締役会および委員会の議論の活性化、深化に貢献していただいております。

いくつか具体的な事例を紹介しますと、女性活躍社会に向けた働きやすい環境の整備やリーダー教育の重要性、企業における情報管理体制、ノンアセット事業におけるデータ活用方針や資本投下の選別の重要性、長期経営計画におけるKPIと連動する報酬体系の必要性等に関するご意見をいただいております。また、新型コロナウイルス感染拡大後の社会構造の変化に対応して当社の社会価値向上の実現を模索することの重要性や、新たな不動産価値創造の重要性及びその運営体制構築を提起するなど、貴重なご意見をいただいております。

以上の通り、当社指名委員会としては、江上氏は独立性及び「取締役候補者選任基準」を満たしており当社社外取締役として適任であると判断しております。

※1、※2（P8）、※3（P6～7）

<https://www.mec.co.jp/j/investor/governance/materials/pdf/guidelines.pdf>

以上